



国際ロータリー第2510地区
ロータリー財団補助金管理セミナー

寄付推進と認証について

2022年10月2日

2023年RI研修リーダー

2019-22年度第1地域E/MGA

中谷 研一

国際ロータリー第2550地区
ロータリー財団補助金管理セミナー
**寄付推進と認証
について**

本日の内容

1. 行動計画/優先事項 1 /2022-23年度年次目標
2. ロータリー財団新たな目標
3. ロータリー財団寄付概況（2021-22年度暫定、2020-21年度統計より）/世界の寄付額/寄付総額/支出額/グローバル補助金プログラム/統計まとめ
4. 年次基金（2020-21年度統計より）
WFに関する方針変更と背景/年次寄付額
5. 大口基金と恒久基金/大口寄付&統計/
恒久基金/冠名基金/支援プログラム/
利用可能な収益/ロータリー遺贈/
6. 寄付と認証
7. 補助金管理セミナーと再資格認定
8. まとめ

行動計画

優先事項 1： 大きなインパクトをもたらす

- 大きなインパクトをもたらすとは？
- なぜこの優先事項に取り組むのか？
- 国際ロータリーにとってどのような意味が？
- 私にとってどのような意味が？何ができる？

優先事項 2： 参加者の基盤を広げる

- 参加者の基盤をひろげるとは？
- なぜこの優先事項に取り組むのか？
- 国際ロータリーにとってどのような意味が？
- 私にとってどのような意味が？何ができる？

優先事項 3： 参加者の積極的なかわりを促す

- 参加者の積極的なかわりを促すとは？
- なぜこの優先事項に取り組むのか？
- 国際ロータリーにとってどのような意味が？
- 私にとってどのような意味が？何ができる？

優先事項 4： 適応力を高める

- 適応力を高めるとは？
- なぜこの優先事項に取り組むのか？
- 国際ロータリーにとってどのような意味が？
- 私にとってどのような意味が？何ができる？

優先事項 1 : 大きなインパクトをもたらす

● より大きなインパクトをもたらすためには

奉仕プロジェクトから得られたデータを、**効果的な方法で測定分析する上で必要なインフラ・能力等を築く**。⇒有意義な方法で、取組み・リソースの的を絞ることが可能

● なぜ優先事項に取り組むのか

パートナー団体、若い世代のロータリアン、年々増える寄付者は、ロータリーが明確で具体的なインパクトを生み出している証を求める。

⇒**ポリオ根絶活動から得たデータを活かし7つに重点分野に向けて取組みに適用する基準の設定にいかす**

● 国際ロータリーにとってどのような意味があるか

ポリオ根絶活動の継続を通して得られた教訓を他の重点分野の測定評価に生かすこと、適切な専門知識と測定手段、プロジェクトの評価に必要なツールと枠組みを特定する等

● 私たちにとってどのような意味があるか、何ができるか

地域社会のニーズについて情報収集し、活動前後における評価を実施し、測定可能かつ持続可能な変化を社会にもたらすために何ができるか。

⇒**クラブ・地区がもたらした変化を説得力ある形でストーリーを伝え、強固で多様性のあるネットワークを築くことができる。**

2022-23年度 年次目標

-2022国際協議会WEBより-

優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」

1. **ポリオを根絶**し、**ロータリーの役割を強調**する
2. **2025年までに恒久基金を20億2500万ドル**とし、**年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす**
3. 特にロータリーの**七つの重点分野**において、**新たなパートナーシップ**を築き同分野で成果を上げている**クラブ、地区、国際プログラムおよびプロジェクト**に**スポットを当てる**。

ロータリー財団の新たな目標…

2025年までに

ロータリー財団は**2025年**までに

恒久基金の「純資産」と「寄付の誓約」の合計を、

20億2500万ドル

にする目標を立てました。

2021年5月31日現在

8億7,300
万ドル

6億6,100
万ドル

寄付の誓約
10億2500
万ドル

純資産
10億
ドル

合計

15億3,400万ドル

20億2500万ドル

2021-22年度財団寄付概況 **(未監査)**

2020-21年度ジョン・ジャームTRF管理委員長報告 (2022.09.08)

- **2021-22年度寄付総額 4億3,440万ドル**

(包括的ファンドライジング目標値：4億1,000万ドル)

- ・グローバル補助金プログラム：1,190件以上
- ・地区補助金：470件
- ・災害救援補助金：225件 等以上に各補助金を授与

- **ロータリー財団活動の新たな動向**

- ・環境保全を含む**7つの重点分野を加え活動開始**
- ・**ウクライナ国内その周辺国での活動支援**する災害救援補助金のため1,500万ドル集める
- ・**2つ目大規模プログラム補助金受領プログラム**：Together for Health Family in Nigeria
- ・**新しいロータリー平和センター提携大学**の research を開始
- ・**ポリオ根絶**：ビル&メリンダ・ゲイツ財団寄付2倍の上乗せ確保、追加の1億ドル確保



2020-21年度 ロータリー財団寄付概況



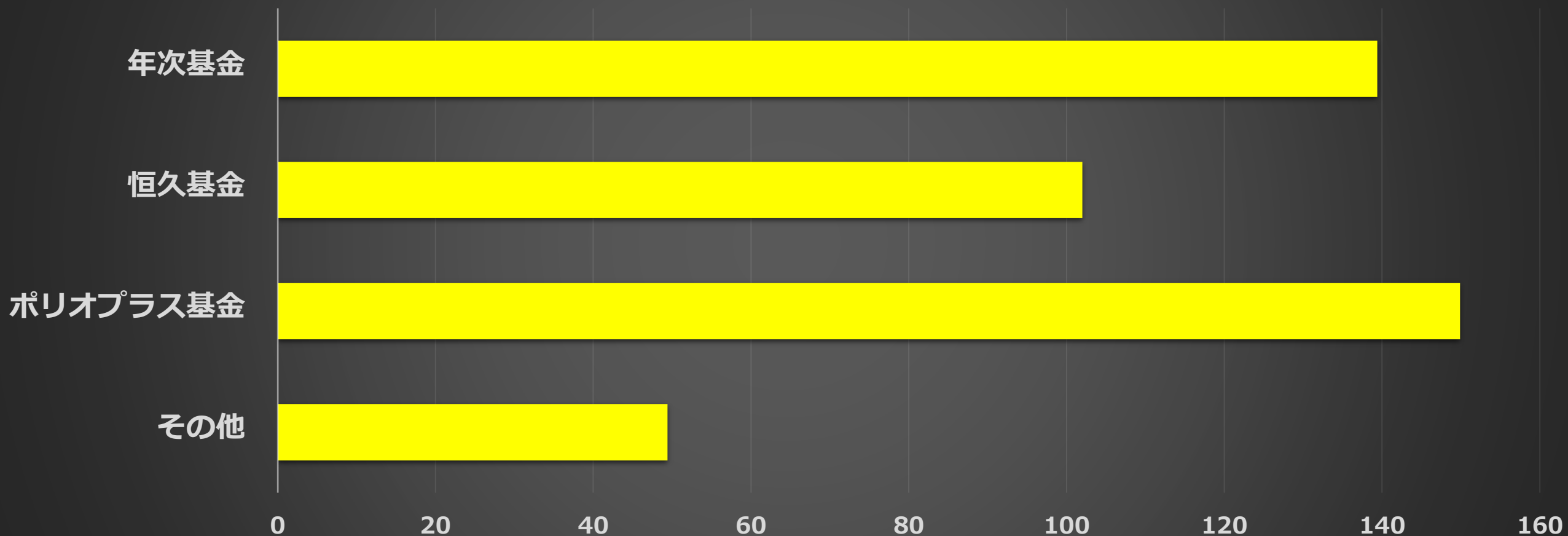
2020-21年度 寄付額上位5カ国

順位	国	年次基金	ポリオプラス	その他の基金	恒久基金	合計
1	アメリカ	\$51,985,511	\$114,733,336	\$7,142,244	\$14,572,314	\$188,433,405
2	韓国	\$16,602,265	\$551,998	\$1,680,044	\$3,854,083	\$22,688,390
3	インド	\$7,857,479	\$2,000,016	\$10,750,509	\$1,780,904	\$22,388,908
4	日本	\$12,598,570	\$2,289,959	\$313,683	\$1,972,351	\$17,174,563
5	台湾	\$7,038,965	\$1,069,368	\$2,296,326	\$4,427,976	\$14,832,635

2020-21年度寄付総額

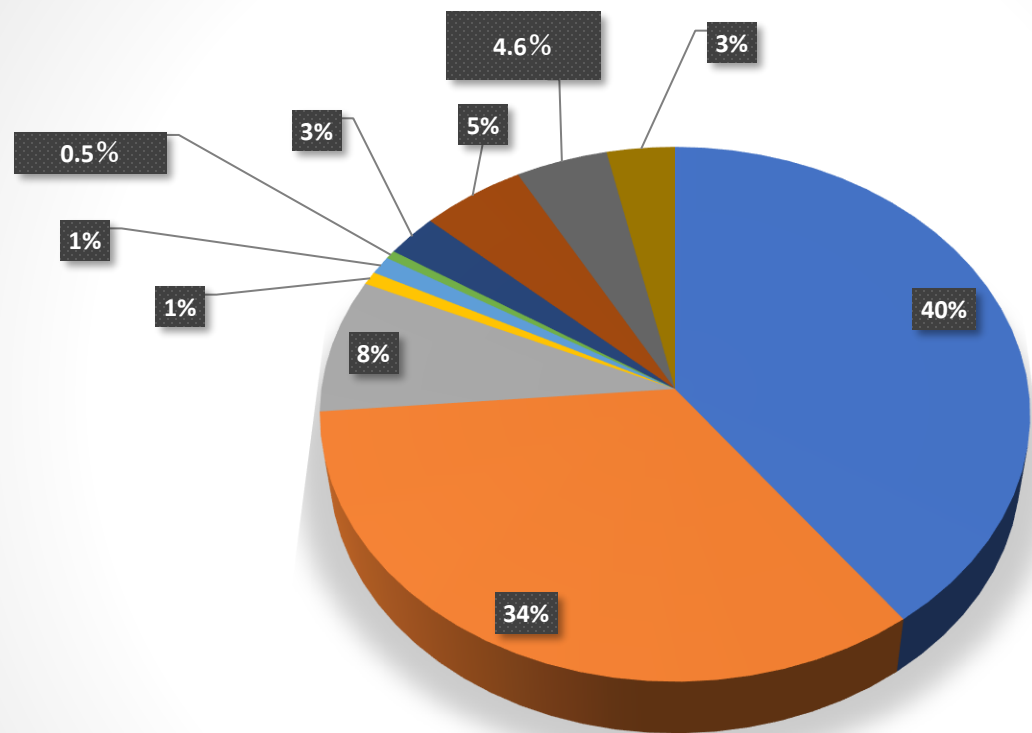
(年次報告からの抜粋)

2020-21年度寄付総額：4億4,090万ドル（単位：百万ドル）



2020-21年度総支出額

(年次報告からの抜粋)

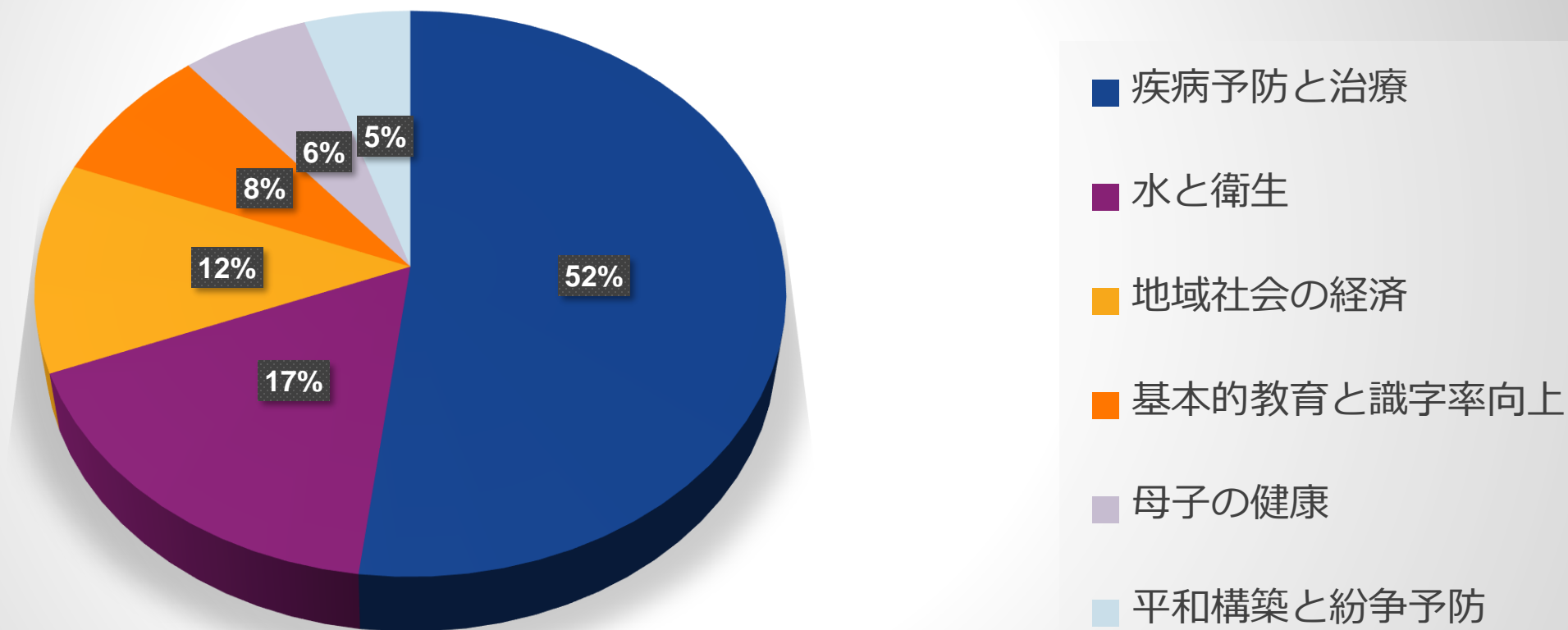


総支出：3億8,400万ドル

- | | | |
|-----------|---------------|---------------|
| ■ ポリオプラス | ■ グローバル補助金 | ■ 地区補助金 |
| ■ 災害救援補助金 | ■ ロータリー平和センター | ■ 大規模プログラム補助金 |
| ■ その他補助金 | ■ プログラム運営 | ■ 寄付推進 |
| ■ 一般管理 | | |

グローバル補助金プログラム

2020-21年度グローバル補助金プログラムの割合



2020-21年度ロータリー財団統計まとめ

(年次報告からの抜粋)

寄付概要	2020-21年度	累計
年次基金	1億3,940万ドル	30億ドル
恒久基金	3,260万ドル	4億4,700万ドル
ポリオプラス基金	1億3,320万ドル	19億ドル
その他	4,940万ドル	3億2,770万ドル
現金寄付合計	3億3,320万ドル	57億ドル
恒久基金への新たな誓約	6,940万ドル	8億8,220万ドル
ポリオプラスへの繰入	1,670万ドル	—
すべての合計	4億4,090万ドル	—
各種プログラム授与金と運営	3億5,230万ドル	1947年以来： 53億ドル



ロータリー財団への

年次寄付は、

今支援が必要な人びとの

より良い生活を支援

するために活かされています

国際財団活動資金（WF）に関する方針の変更

(2021年7月1日より有効)

決定1：ポリオプラスへの地区財団活動資金（DDF）の寄贈に対する**上乘せが50%**になる。

決定2：グローバル補助金へのDDF寄贈に対するWFからの**上乘せ額を100%から80%に引き下げる**。

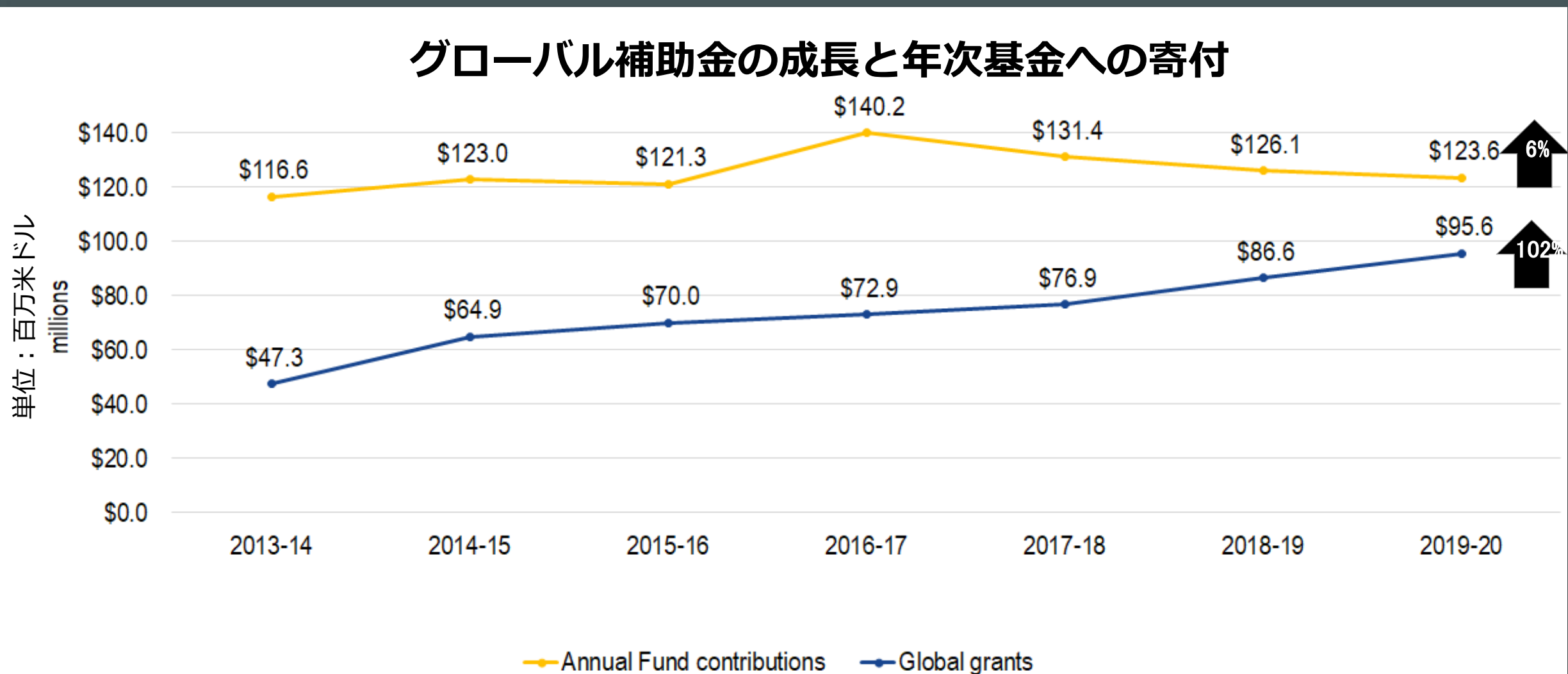
決定3：**年次基金（シェア）寄付の5%が、運営費に充てるためにWFとDDFから均等に差し引かれる**。

但し、2024年7月1日まで、年次基金(シェア)寄付から生じるDDFへの影響はない。

決定4：2026年7月1日より、**5年間を超えて未使用のまま繰り越されたDDFは、財団の基金およびプログラムに充てること**ができる。そのようなDDFの指定先を財団に通知しない場合、**自動的にWFに充てられる**。

背景

グローバル補助金の成長と年次基金への寄付



2020-21年度 大口寄付と恒久基金

大口寄付

- 大口寄付とは、寄付の種類にかかわらず、一括で1万ドル以上のご寄付（合計が1万ドル以上であれば、寄付分類が分かれてもかまいません）
- 大口寄付においては、会員が経営する法人からの寄付を会員個人の認証に加えられる。
- オンライン（クレジットカード）でのご寄付ができます。大口寄付も可能です。（寄付・認証の手引き P8を参照）

地域別の大口寄付額

-過去4年間の比較-

(第2地域E/MGA杉岡氏資料より)

(財団室調べ)

	2017-18	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22 (7-9月)
第1地域	\$1,120,898	\$735,158	\$718,458	\$418,763	\$131,091 前年\$111,422
第2地域	\$931,048	\$556,367	\$877,598	\$703,727	\$589,191 前年\$217,588
第3地域	\$1,045,628	\$686,427	\$990,661	\$416,181	\$191,227 前年\$136,000
大口寄付合計	\$3,096,575	\$1,977,952	\$2,586,718	\$1,538,671	\$611,509 前年\$465,010
日本の寄付合計	\$18,654,221	\$17,635,489	\$18,317,368	\$17,174,563	\$3,644,392*
割 合	16.6%	11.0%	14.1%	9.0%	16.8%*

※暫定
(2021年10月末現在)



ロータリーの**恒久基金**へのご寄付は、
長期にわたり人びとの人生を変える
プログラムを**永久に支援**しています

恒久基金とは…

ロータリー財団の恒久基金は、1982年に設置
【恒久基金設置の目的や理由】

- ・ 増え続ける奉仕活動を末永く可能にすべく、
その**活動資金を恒久的に確保し財政を安定**
させる
- ・ 恒久基金への寄付は、**元本は使われること**
なく使用可能な投資収益のみが活動資金に
役立てられる

冠名基金とは…

(財団室資料より)

- 恒久基金へのご寄付**25,000ドル以上**で、好きな名前をつけた基金を設立することができます。

冠名基金は、恒久基金の一つです

※**事前に冠名基金設立同意書の締結**が必要です。

- 冠名基金は、**個別で管理**されます。
- 基金に**寄付を追加**することもできます。
- 金額によって、**選べる条件**が異なります。

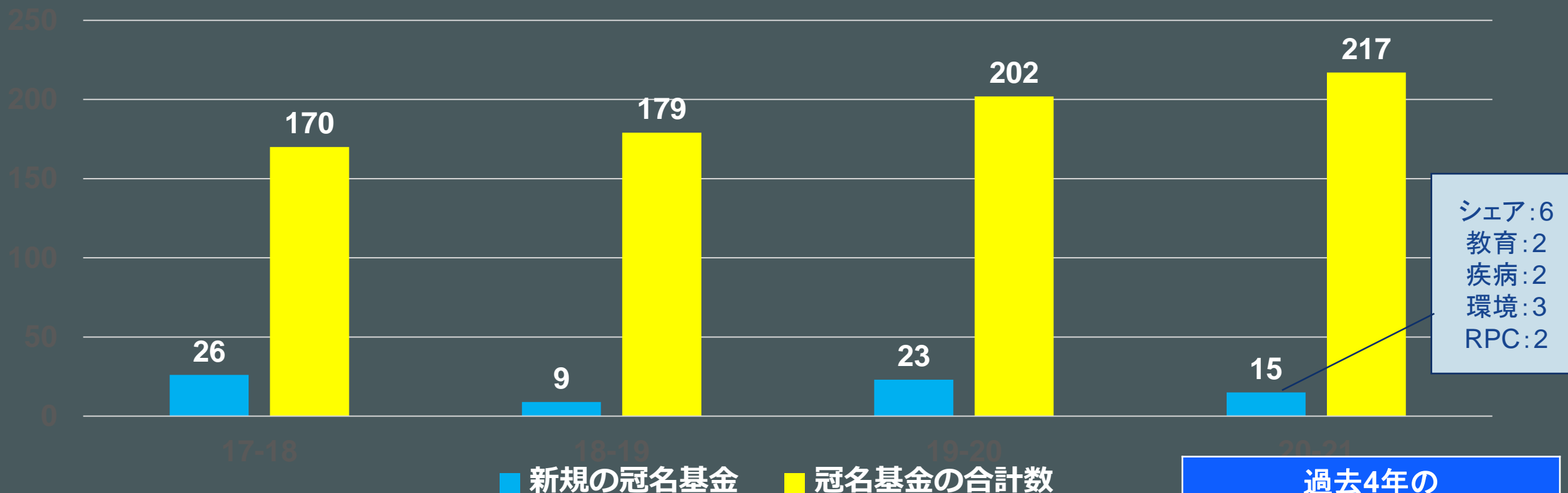
冠名基金設立のメリット

(財団室資料より)

- 自身が特に支援したいプログラムへの**永続的な支援**となる
- 地域**社会への貢献**となる
- 基金名を**自由に設定**することができる
- **記念**となる

日本の冠名基金の増加数

(財団室調べ)



※日本ロータリー平和センター基金は上記件数に含まれております。

冠名基金設立の流れ

(財団室資料より)

- 
1. 寄付者とロータリー財団が冠名基金設立同意書を締結→Gift ID (基金番号) が発行される
 2. 基金番号を指定して、25,000ドル以上の寄付をする
 3. 冠名基金設立 (例： Taro Yamada Fund)

支援プログラム

恒久基金の支援

恒久基金は投資され、元金が支出されることはなく、利用可能な収益の一部がロータリー財団プログラムを恒久的に支えます。

<p>シェア</p>	<p>利用可能な収益の50%がDDFに、残りの50%がWFになります。DDFとして利用可能な収益が地区に通知されるのは10月頃です。</p>
<p>WF (国際財団活動資金)</p>	<p>利用可能な収益の全額がWFになります。WFは、グローバル補助金に対する上乗せやその他財団プログラムの資金などに活用されます。</p>
<p>ロータリー平和センター</p>	<p>ロータリー平和フェロースhipやセンターの維持費など、プログラム全体に係る費用に活用されます。</p>
<p>重点分野</p>	<p>平和構築と紛争予防、水と衛生、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、母子の健康、疾病予防と治療、環境保全</p>

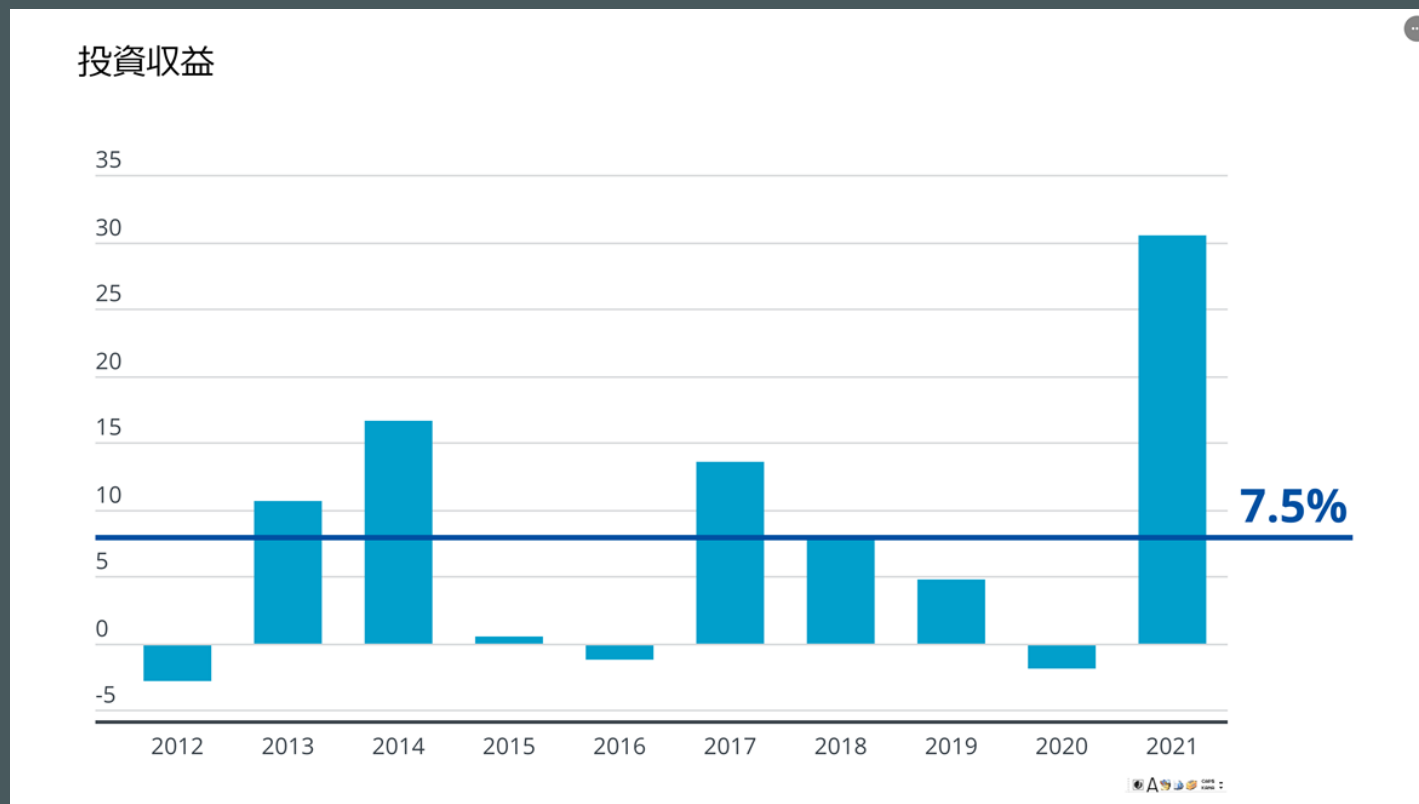
利用可能な収益

恒久基金の投資

(第2地域E/MGA杉岡氏資料より)

投資実績

2020-21年度の恒久基金の投資収益率は**30.5%**でした。2012年以降の各会計年度の投資収益率は表の通りです。この期間の年換算利回りは**7.5%**でした。



ロータリー財団の評価

ロータリーは誰もが確信をもって支援できる団体です。

過去10年以上、**総支出の約90%をプログラムに充てており**、独立したチャリティ評価機関による効率性の標準を大きく上回っています。

資金の **91%** を
プログラム補助金とプログラム
運営費に使用

14年連続**四つ星**評価



皆さまが後世に残す遺産は、
どのように世界を変えてい
くでしょうか

ロータリーへの 遺贈

寄付と認証

寄付（支援）の種類

寄付分類名		概要
年次基金 (年次寄付)	シェア	寄付の47.5%ずつが、3年後にDDF（地区財団活動資金）とWF（国際財団活動資金）、5%が運営費となります。地区の活動や〇-列-財団の活動に活用されます。
	WF（国際財団活動資金）	寄付を全額WFに指定できます。WFは、グローバル補助金に対する上乗せやその他財団プログラムの資金等に活用されます。
	重点分野	7つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができます。
〇-列-災害救援基金		災害救援活動や復興活動に生かされます。この基金へのご寄付は、特定の災害に指定することはできず、〇-列-災害救援補助金を通じて活用されます。年次基金が対象となる各種認証や寄付データに算入されます。
ポリオプラス		ポリオ根絶運動を支援します。（例：ワクチン投与、報告・モニタリング、症例分析、輸送手段、ヘルスキャンプの設置、広報活動など）

寄付分類名		概要
恒久基金	シェア	元金はそのままに、収益の50%がDDFに、残りの50%がWFになります。使用可能な収益が通知されるのは10月頃です。
	WF（国際財団活動資金）	収益の全額がWFになります。WFは、グローバル補助金に対する上乘せやその他財団プログラムの資金等に活用されます。
	ロータリー平和センター	ロータリー平和フェロシップやセンターの維持費などプログラム全体に係る費用を支援します。
	重点分野	7つの重点分野のいずれかを指定して寄付ができ、使用可能な収益がプロジェクトに活用されます。
	冠名基金	冠名基金を保有している方はご自身の基金に寄付を追加することができます。

寄付分類名		概要
その他	承認済みの グローバル補助 金への拠出	承認されたグローバル補助金への現金拠出です。送金時には、寄付送金明細書に必ず補助金番号を記入してください。
	指定寄付	ロータリー平和フェローシップ学友寄付イニシアチブ、ロータリー平和センター指定寄付、グローバル補助金冠名指定寄付です。（指定寄付はPHF、PHS等対象外）
	その他	その他、臨時に設置された基金

認証の種類/レベル/認証品 (1)

PHF	\$ 1,000~	認証状と襟ピン
PHF + 1	\$2,000~	襟ピン (サファイア1粒)
PHF + 2	\$3,000~	襟ピン (サファイア 2粒)
PHF + 3	\$4,000~	襟ピン (サファイア 3粒)
PHF + 4	\$5,000~	襟ピン (サファイア 4粒)
PHF + 5	\$6,000~	襟ピン (サファイア 5粒)
PHF + 6	\$7,000~	襟ピン (ルビー 1粒)
PHF + 7	\$8,000~	襟ピン (ルビー 2粒)
PHF + 8	\$9,000~	襟ピン (ルビー 3粒)

認証の種類/レベル/認証品 (2)

メジヤードナー (MD)

MD レベル 1	\$10,000~	クリスタルと襟ピン/ ペンダントトップ (レベルごとにクリスタルの 大きさ、襟ピン/ペンダント トップの石の数が変わりま す)
MD レベル 2	\$25,000~	
MD レベル 3	\$50,000~	
MD レベル 4	\$100,000~	

認証の種類/レベル/認証品 (3)

アーチ・クラフ・ソサエティ (AKS)

管理委員会サークル (Trustee Circle)	\$250,000~	クリスタルと襟ピン/ ペンダントトップ (レベルごとに襟ピン/ペンダントトップの石の数が変わります)
管理委員長サークル (Chair's Circle)	\$500,000~	
財団サークル (Foundation Circle)	\$1,000,000~	
管理委員会プラチナサークル (Platinum Trustee Circle)	\$2,500,000~	
管理委員長プラチナサークル (Platinum Chair's Circle)	\$5,000,000~	
財団プラチナサークル (Platinum Foundation Circle)	\$10,000,000~	

認証の種類/レベル/認証品 (4)

遺贈友の会

レベル1	\$10,000~	アート作品と襟ピン
レベル2	\$25,000~	クリスタルと襟ピン/ペンダントトップ (レベルごとに、襟ピン/ペンダントトップの石の数が変わります)
レベル3	\$50,000~	
レベル4	\$100,000~	
レベル5	\$250,000~	
レベル6	\$500,000~	
レベル7	\$1,000,000~	
レベル8	\$2,500,000~	
レベル9	\$5,000,000~	
レベル10	\$10,000,000~	

認証の種類/レベル/認証品（5）

ベネファクターとレガシーソサエティー

- ベネファクター: 認証は恒久基金への寄付合計が\$1,000に達した時1回のみ贈られる

ベネファクター	\$1,000~	認証と襟ピン（ウイング）
---------	----------	--------------

- レガシー・ソサエティー（Legacy Society）

レガシー・ソサエティー	誓約額\$1,000,000~	レガシー・ソサエティーの認証品および遺贈友の会の特典
-------------	-----------------	----------------------------

寄付分類と対象となる認証

- ・ **ベネファクター**: 認証は恒久基金への寄付合計が\$1,000に達した時1回のみ贈られる

寄付分類名		個別の認証の種類				ベネファクター ※遺贈友の会/LS ^{*4} 含
		財団友の会	PHF & MPHF ^{*1}	PHS ^{*2}	MD & AKS ^{*3}	
年次基金 *ロータリー財団災害救援基金含		○ 対象	○ 対象		○ 対象	× 対象外
	恒久基金	× 対象外	× 対象外			○ 対象
ポリオプラス		× 対象外	○ 対象		○ 対象	× 対象外
その他	補助金への拠出	× 対象外	○ 対象			× 対象外
	指定寄付	× 対象外	× 対象外			× 対象外

*1 PHF : ポール・ハリス・フェロー / MPHF : マルチプル・ポール・ハリス・フェロー *2 PHS : ポール・ハリス・ソサエティ

*3 MD : メジャードナー、AKS : アーチ・クランフ・ソサエティ *4 LS : レガシーソサエティ

補助金管理セミナーと再資格認定

- クラブと地区は、ラーニングセンターから補助金参加資格の再認定を受けることができるようになりました。

『補助金管理の再資格認定2022-23』

補助金管理セミナーの学習プランにある10のコースを既に完了しているクラブと地区のリーダー向けのコースです。この再資格認定のコースを受けることで、認定状況を更新することができます。

(Learning in Action 第1号より)

まとめ

2020-21年度ロータリー財団活動状況

1) グローバル補助金：

- ① 「疾病予防と治療」が全体の52%を占め、医療物資が世界中の地域へ寄贈された。
- ② 世界中の65%のクラブがパンデミックを収束させるため協働で活動を行った。
- ③ 年次基金の枯渇という問題が生じた。
- ④ 恒久基金やその他の基金を維持してきた結果、多くの活動が無事完結を迎えた。

2) 未来に向けた財団活動

活動が持続可能で、かつより大きなインパクトを持つ活動に成長させるためにより安定した資金運営が必要。⇒**恒久基金へのご支援が不可欠**

ロータリー財団へご協力に心より感謝を申し上げます。



ご清聴
ありがとうございました！

QUESTIONS